

応急災害復旧作業状況(国道249号、県道等、能越自動車道等)

- : 国道249号沿岸部・緊急復旧実施会社
- : ライフライン復旧関連路線・緊急復旧会社
- : 能越自動車道等・緊急復旧実施会社

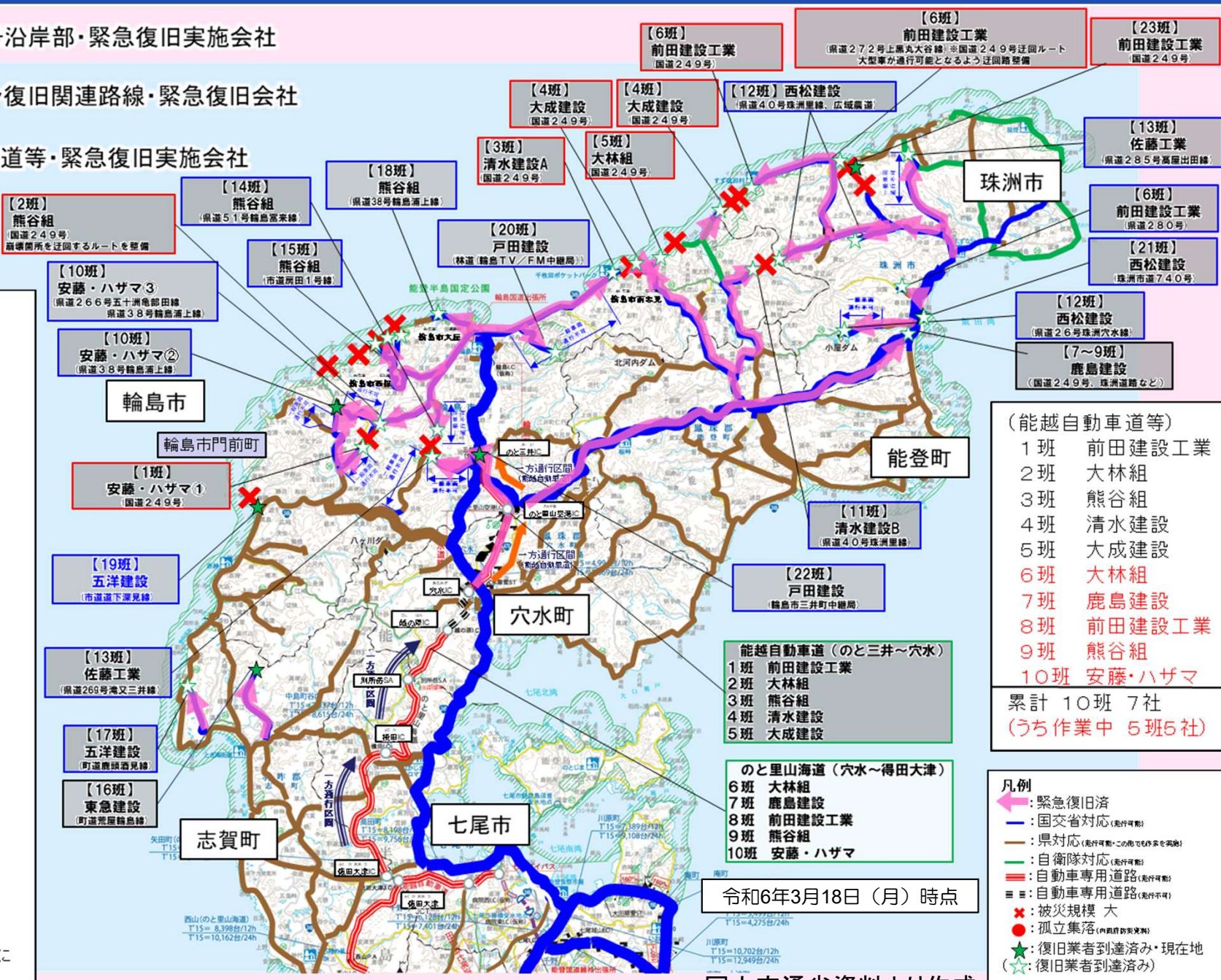
累計 33班12社
(うち作業中 5班5社)

(国道249号・県道等)

- | | |
|------|--------|
| 1班 | 安藤・ハザマ |
| 2班 | 熊谷組 |
| 3班 | 清水建設 |
| 4班 | 大成建設 |
| 5班 | 大林組 |
| 6班 | 前田建設工業 |
| 7~9班 | 鹿島建設 |
| 10班 | 安藤・ハザマ |
| 11班 | 清水建設 |
| 12班 | 西松建設 |
| 13班 | 佐藤工業 |
| 14班 | 熊谷組 |
| 15班 | 熊谷組 |
| 16班 | 東急建設 |
| 17班 | 五洋建設 |
| 18班 | 熊谷組 |
| 19班 | 五洋建設 |
| 20班 | 戸田建設 |
| 21班 | 西松建設 |
| 22班 | 戸田建設 |
| 23班 | 前田建設工業 |

累計 23班12社

※清水建設(3班)は発災当初に
輪島市までの緊急復旧を実施
※鹿島建設(7~9班)は発災当初に
珠洲市までの緊急復旧を実施



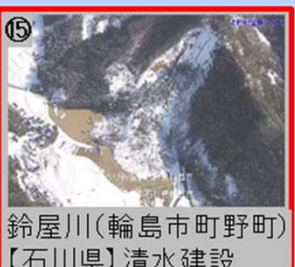
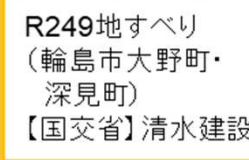
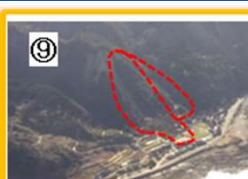
- ## (能越自動車道等)
- | | |
|-----|--------|
| 1班 | 前田建設工業 |
| 2班 | 大林組 |
| 3班 | 熊谷組 |
| 4班 | 清水建設 |
| 5班 | 大成建設 |
| 6班 | 大林組 |
| 7班 | 鹿島建設 |
| 8班 | 前田建設工業 |
| 9班 | 熊谷組 |
| 10班 | 安藤・ハザマ |
- 累計 10班 7社
(うち作業中 5班5社)

- ### 凡例
- ← : 緊急復旧済
 - : 国道省対応 (発祥可能)
 - : 県対応 (発祥可能・この色でルート表示を省略)
 - : 自衛隊対応 (発祥可能)
 - : 自動車専用道路 (発祥可能)
 - : 自動車専用道路 (発祥不可)
 - × : 被災規模 大
 - × : 孤立集落 (内閣府発表資料)
 - ★ : 復旧業者到達済み・現在地
 - ☆ : 復旧業者到達済み

令和6年3月18日(月)時点

国土交通省資料より作成

応急災害復旧作業状況(地すべり・河道閉塞・海岸)



令和6年3月18日現在
国土交通省資料より作成

① 衛星通信システムの活用

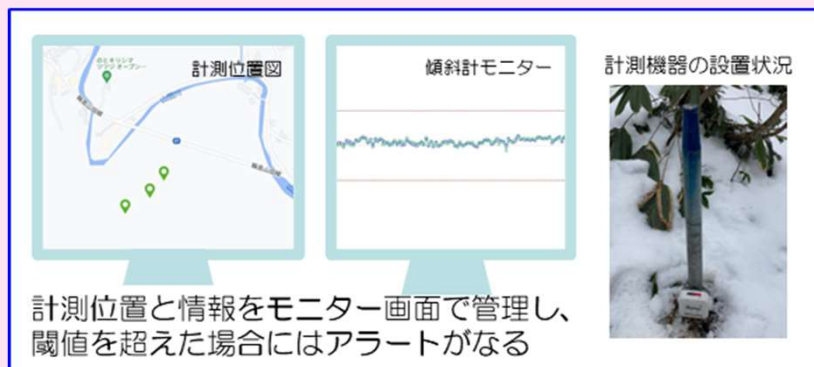
地震発生直後、通信不可の地域では、衛星通信システムを活用し、インターネット利用したWEB会議・映像データ等送受信により、現場-支店-本社間の情報共有体制を構築した。

現場では衛星通信システムを車上に設置して使用



② 現場管理のためのモニタリングシステム

河道閉塞等の応急対策現場において、傾斜計等を配置しながらモニタリングを行い、作業や斜面の安全性を確認した。



※写真は会員企業より提供

③ ドローンの活用

ドローンを使用することにより、安全かつ迅速に現地測量等行うとともに、上空映像からの作業管理、3次元データによる数量計算等の効率化を図った。

ドローン測量



現場上空写真



④ 遠隔操作施工機械の導入

安全性の確認できない現場(例えば、強度確認できない橋梁を渡るなど)では、機材・土砂運搬等の作業において遠隔操作施工機械を使用した。

遠隔操作施工機械の走行状況



遠隔操作装置の設置状況

